福祉・介護施設における新型コロナウイルス感染症対策Q＆A

～感染患者さんを早期にみつけるための留意点～

**どのような状態なら、新型コロナウイルス感染症を疑えばよいか？**

【見つけるのに重要な情報】

　　・熱がある

【重症かもしれない重要な情報】

　　・ご飯を受け付けない

　　・ハアハアしている　→　熱がなくてもハアハアしていると危ない状態かもしれない

【そのほかの情報】

　　・咳をしている　　・だるそう　　・のどを痛がる　　・吐く　　・下痢をしている

　　・なんとなくおかしい

　福祉・介護施設に入所されている方々は、高齢だったり訴えが困難な方が多いため、これらの症状がしっかりと確認できない可能性があります。

　「なんとなくおかしい、いつもと違う」という家族やスタッフの感覚が唯一の手がかりになることもあります。

**風邪やインフルエンザ、感染性胃腸炎、一般的な肺炎などとどうやって区別するか？**

新型コロナウイルス感染症は、

１　風邪と比べて、長引く

２　インフルエンザと比べて、長引く

３　感染性胃腸炎と比べて、咳やのどの痛みも出てくる

　　４　誤嚥性肺炎と比べて、周りの人も調子を落としている

　症状だけで完全に区別することはできませんが、新型コロナウイルス感染症は、長引くことと周りへの伝播力が強いことという特徴があり、これが疑う手がかりになります。

**周りへの伝播力が強いことをどうやって見つけるか？**

　　１　毎日、朝と夕に全入所者と業務中の全職員の体温を測る

　　２　毎日、朝と夕に37.5度以上の人数を数える

　　３　毎日、朝と夕に37.5度以上の人数をグラフに加えていく

　　４　「あれっ、これ何だか増えてない？」と思ったら、即、保健所に相談

グラフに記録していくと早く気づくことができる

　　　　　

**早く気づいた時、どんな手を打てばよいのか？**

新型コロナウイルス感染症の診断よりもまず優先すべきこと

　１　症状がある方と症状がない方のエリアを離す

　２　個室がない場合は、同じ症状がある方を同じエリアにまとめる

　３　可能であれば、日ごとに症状がある方と症状がない方の担当を別にする（毎日固定の必要はない）

　４　「あれっ、これ何だか増えてない？」に気づいた時、何をすべきかすぐに動けない場合には、即、保健所に相談

**（出典：「福祉・介護施設における新型コロナウイルス感染症の対策～感染患者さんを早期にみ**

**つけるための注意点～」（長崎大学病院　感染制御教育センター　副センター長　田代将人氏）**

**より引用）**

福島県保健福祉部　高齢福祉課・障がい福祉課